

江府町立 小・中学校

コミュニティ・スクールだより

江府町コミュニティ・スクール推進委員会

第6号

令和2年2月14日

江府町教育委員会事務局

「コミュニティ・スクール」説明会実施 江府町版コミュニティ・スクール ～令和2年4月スタート!!～

11月に町内4会場において説明会を実施しました。

今号では、説明会の質疑応答・意見交換の様子についてお伝えします。



旧俣野小校区説明会（11/7）

Q：「知らない人に声をかけられてもついていくな」という時代。子ども達との信頼関係を築く努力が必要。

A：子ども達は地域でも遊ばないので、地域の人を知りません。学校もできるだけ開き、学校に来てもらってつながりを作る取組を行っているところです。



Q：地域の行事やイベントに参加させたいという思いはあっても、「学校の勉強が遅れる」ということで断られることは実際にあった。そういった体制はできるのか。

A：他町では、学校運営協議会で話をする中で、地域の運動会に生徒が参加するために部活動を休みにしたところもあります。企画や運営にも参加するようになり、敬老会の司会等にも出ていくようになって、子ども達が出てくることを地域は喜んでいます。



Q：「学校方針を承認」とあるが、追認するだけになるのではないかと危惧する。

A：計画的・組織的に学校の中に地域の声が入ってくる状態ができるので、学校と地域がよい形でしっかりとつながっていきます。



ご質問

Q：地域として何をすればよいのか。老人会等でもさまざまな活動を行っているが、かなりの数。新たな事業が入ってくるとなるとオーバーワークになることが心配。

A：日頃の活動で、子ども達に声をかけて参加・交流するなど、お互いが元気をもらえる仕組みづくりから始めていただければと思います。日常生活の中で子ども達と関わっていただくことで江府町全体が学びの場となります。そうした意識を持って子ども達を見守ってください。





ご質問 (つづき)



旧明倫小校区説明会 (11/9)

Q: 校長が、学校の方針を承認する委員とかぶっているが。

A: 「学校運営方針の承認」については、校長以外の委員で行います。



Q: 先生には異動があるが、江府町に来られた時にふるさを愛する指導ができるのか心配。

A: 管理職等が変わって新たな風が吹くこともありますが、たいことですが、運営協議会が継続的にあることで、地域の思いはきちんと引き継がれます。



Q: 委員について、地元の企業等への声かけもおもしろいのでは。

A: 民間企業の選定となるといろいろと難しいので、今のところは考えていません。



旧米沢小校区説明会 (11/13)



ご意見

説明会において、CSを進めていくにあたってのご意見もいただきましたのでご紹介します。

- 地域に小学校がなくなり、学校と地域とが離れている。CSのメリット (*CSだより第5号参照) が理想ではなく現実のものとなるようにしてほしい。
- 9年間の子ども達対象となると、必要に応じて発達段階に応じた取組を。
- 学校支援の活動でボランティアを募集したかなかなかいない。人集めの仕掛け、バックアップを。

みんなの力で…

本町ではこれまでも、たくさんの住民のみなさんに学校教育を支えていただいています。

子ども達は様々な体験を通してふるさとにふれ、住民のみなさんの温かさに包まれながら、ふるさとの素晴らしさを味わっています。

..... < ほんの一部ですがご紹介します >



江尾十七夜体験



校舎を一緒に磨く会



田植え・稲刈り体験



ブルーベリー狩り



しめ縄作り体験



ひまわりの苗植え

こうした取組がますます充実するよう、また、それによって町全体も元気になるよう、町ぐるみでCSの仕組みをしっかりと作り上げていきたいと思ひます。

前述のご意見も踏まえながら進めていきたいと思ひますので、今後ともご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたひします。